

# 大学院医学研究科(博士課程) 学 生 募 集 要 項

平成 30 年 10 月入学

平成 31 年 4 月入学

福島県立医科大学

# 医学研究科医学専攻アドミッションポリシー

本大学院医学研究科医学専攻では、高い倫理観と豊かな人間性を備え、共に新しい医学を創造し、社会に貢献する次のような学生を求めている。

## ● 求める学生像

1. 医学・医療に関する高度な専門的知識・技術の修得を目指す人
2. 新たな分野に踏み込み、先駆的な研究活動を志す人
3. 地域の医学・医療水準の向上を目指し、指導的な役割を担おうとする人
4. 大学・研究機関の指導者、研究者として活躍する意欲を持つ人
5. 医学・医療の分野で、世界に飛躍しようとする熱意を持つ人

## ● 入学者選抜の基本方針

「求める学生像」に沿った人材を選抜するために、4月入学、10月入学の試験を入学時期に合わせて実施している。社会人を含む様々な立場の方に門戸を開放している。試験は筆記試験（小論文）、面接、成績証明書及び志望理由書により学力や相応しい資質を総合的に評価し、合格者を決定する。

# 目 次

## 【学生募集要項】

1	専攻、分野、及び募集人員	1
2	出願資格	2
3	出願資格の認定	2
4	願書受付期間	3
5	出願手続	3
6	入学者選抜方法	4
7	試験期日、時間等	4
8	合格者発表	5
9	入学手続等	5
10	注意事項	5

## 【福島県立医科大学大学院医学研究科（博士課程）入学案内】

1	概要	6
2	標準修業年限	6
3	授業の構成と概要	6
4	分野と研究内容	6
5	学位の授与	6
6	奨学金	6
7	外国人の臨床修練	6
8	授業料免除制度	6
9	長期履修制度	6
10	大学案内図	7

別表1	授業科目	8
-----	------	---

別表2	各分野の研究指導の主なテーマ	10
-----	----------------	----

## 【本研究科所定の様式】

入学願書、写真票・受験票、健康診断書、出願資格審査申請書、志望理由書、受験許可書、研究活動歴、払込取扱票等（郵便局）……（以上綴じ込み）

出願用封筒、受験票送付用封筒



# 福島県立医科大学 大学院医学研究科（博士課程）

## 平成30年10月入学・平成31年4月入学

### 学 生 募 集 要 項

#### 1 専攻、分野、及び募集人員

入学志願者は、学習目標に応じて下記のコースから1つを選択し、また、当該コースにおいて専門的に研究する分野を1つ選択して志願してください。

各コースの特色並びに各分野における研究テーマは本要項P10以降に掲載しています。

専攻 コース	募 集 人 員		分 野（※1）
	平成30年10月入学	平成31年4月入学	
医学専攻 （※2）  〔高度医学 研究者 コース〕  〔専門医 研究者 コース〕	【一般入試】 若干名  〔一般入試には社会人（※3）を含みます〕  【外国人留学生 入試（※4）】 若干名	【一般入試】 37名  【外国人留学生 入試（※4）】 若干名	神経発生学、機能組織学、分子機能学、神経生理学、分子調節学、分子免疫学、分子薬理学、感染症学、分子細胞病理学、衛生学・予防医学、臨床疫学、公衆衛生学・疫学、社会医学、放射線生命科学、疫学・社会健康医学、環境保健学、リスク評価学、循環病態学、血管生物学、血液病学、消化器病態学、リウマチ・膠原病学、体液調整医学、糖尿病内分泌代謝内科学、病態神経学、呼吸器病態学、病態制御外科学、胸部腫瘍制御外科学、消化管外科学、腫瘍外科学、心臓血管系再建学、脳神経外科学、運動機能再建学、生活機能学、形成外科学、産科婦人科学、小児保健学、小児科学、眼機能再建学、泌尿器外科学、耳鼻咽喉科学、神経精神医学、放射線医学、麻酔学、周術期生体防衛医学、血液病理学、検査医学、感染制御学、皮膚・粘膜学、移植免疫学、国際医科学、地域・家庭医療学、放射線健康リスク予防医学、スクリーニング・コミュニケーション医学、甲状腺内分泌学、放射線腫瘍学、腫瘍内科学、腫瘍専門医養成コース、リハビリテーション医学、医療統計学、バイオ分析化学、分子生物学、分子細胞情報学、細胞科学、分子神経生物学、病態モデル動物学、口腔組織学、消化器内視鏡学、造血疾患病態学、国際地域保健学、発達・行動医学、標的アイソトープ治療学、造血管腫瘍病態学、病態代謝学、大腸肛門病学、整形外科学・脊椎外科学、上気道外科学、小児腫瘍学、認知症学

※1 上記表中の分野は平成30年4月時点のものです。出願の際は本学ホームページ等で最新の状況をご確認ください。

※2 入学後は、本学附属病院の専攻医として勤務しながら大学院での研究が可能です。

※3 社会人とは、官公庁、研究所、病院、民間企業等に勤務し、勤務成績が優秀で入学後もその職を有する者をいいます。

※4 外国人留学生とは日本国内の大学院に入学する目的で入国した者で、出入国管理及び難民認定法第2条の2第2項別表第1の「留学」の在留資格を有する者又は有することとなる者をいいます。

※5 社会人が、大学院教育を受けやすくするために、本研究科では大学院設置基準第14条教育方針の特例（昼夜開講制）を適用します。

教育方法の特例適用を受ける者は、志願する分野の指導教員と相談の上、授業及び研究指導を夜間や特定の時間又は時期に受講することができます。

#### 【高度医学研究者コース】

医学部卒業生、あるいは本学に設置された修士課程（医科学専攻、災害被ばく医療科学共同専攻）や他学部修士課程の修了者を主な対象とし、医学の発展に貢献する研究者になることを目標とする人材を育成します。

#### 【専門医研究者コース】

本学、あるいは他大学の医学部を卒業し、いわゆる初期研修を終えた研修医を主な対象とします。

高度な専門性を持ち、将来は医学のために医療の現場から貢献できる研究能力を備えた臨床医になることを目的とする人材を育成します。

また、「がん専門医療人材（がんプロフェSSIONAL）」養成プランに基づく「腫瘍専門医養成コース（4コース）」（P8参照）を包括しています。

## 2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

※ 文中【 】内は平成30年10月入学者の取扱です。

- (1) 大学の医学、歯学又は修業年限6年の獣医学若しくは薬学（以下「医学等」という。）を履修する課程を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者【平成30年9月までに卒業見込みの者】
- (2) 外国において学校教育における18年の課程（最終の課程は医学等）を修了した者及び平成31年3月修了見込みの者【平成30年9月までに卒業見込みの者】  
ただし、通算修業年数が18年に満たない者で、その不足する年数以上を大学、研究所等において研究に従事し、本学大学院において、当該研究の成果等により、大学の医学等を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めたものを含む。
- (3) 文部科学大臣の指定した者のうち次に掲げる者
  - ア 防衛省設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者【平成30年9月までに卒業見込みの者】
  - イ 修士課程又は学校教育法（昭和22年法律第26号）第99条第2項の専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者
  - ウ 前期2年及び後期3年の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む。）で、本学大学院において大学の医学等を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの
  - エ 大学（医学等を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上（見込みを含む）研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、大学の医学等を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの
- (4) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学の医学等を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの  
なお、上記出願資格にあつては医師免許の有無は問いません。

## 3 出願資格の認定

前記2(2)のただし書き、(3)のウ、エ、及び(4)のいずれかに該当する者は、下記5「出願手続」の前に出願資格の認定が必要となるので、次のとおり申請してください。

### (1) 申請期間

10月入学	平成30年7月13日(金)まで 受付時間は午前9時から午後5時まで ※土日、祝日を除きます
4月入学	平成30年11月2日(金)まで 受付時間は午前9時から午後5時まで ※土日、祝日を除きます

郵送の場合は、書留郵便で、封筒表面に「大学院（博士課程）出願資格審査申請書在中」と明記の上、上記各期間の最終日まで必着のこと。

## (2) 申請書類

提出書類	摘 要
出願資格審査申請書	本要項添付の用紙を使用してください。
志 望 理 由 書	本要項添付の様式に準じて作成してください。
成 績 証 明 書 卒業（見込）証明書 または 修了（見込）証明書	最終学校（学部・学科）長が作成し厳封したもの
受 験 許 可 書	社会人のみ作成。 本要項添付の用紙に所属長が証明したもの
研 究 活 動 歴	本要項添付の様式に準じて、現在行っている研究活動の内容、成果等を詳細に記載してください。

※ 審査上必要と認めた場合には上記以外の証明書等の提出を求める場合があります。

## (3) 出願資格審査の方法

申請書類により行います。ただし、必要と認めたものについては、口述審査を行います。

## (4) 出願資格審査の結果通知

出願期間までに資格審査結果を郵送により通知します。

## 4 願書受付期間

10月入学	平成30年7月17日(火)から7月25日(水)まで 受付時間は午前9時から午後5時まで ※土日、祝日を除きます
4月入学	平成30年11月12日(月)から11月21日(水)まで 受付時間は午前9時から午後5時まで ※土日、祝日を除きます

郵送の場合は、書留郵便で、封筒表面に「大学院（博士課程）出願書類在中」と明記の上、上記各期間の最終日まで必着のこと。

## 5 出 願 手 続

出願者は出願前に希望する分野の指導教員へ連絡の上、研究内容等について必ず確認をしてください。  
また、上記3「出願資格の認定」時に提出したものについては、改めて提出する必要はありません。

### (1) 出願者共通事項

提出書類	摘 要
入 学 願 書	本要項添付の用紙を使用してください。 裏面の履歴書欄は、高等学校入学以降空白期間がないよう記入してください。
写 真 票 ・ 受 験 票	・ 本要項添付の用紙を使用してください。 ・ 縦4cm、横3cmの写真（無帽、上半身正面、無背景、出願前3ヶ月以内に撮影したもの）を所定に欄に貼付してください。
志 望 理 由 書	本要項添付の様式に準じて作成してください。
成 績 証 明 書	最終学校（学部・学科）長が作成し厳封したもの 大学院修士課程卒業者については出身大学の成績証明書のほか、修士課程における成績証明書を添付してください。 ※ 本学医学部卒業（見込）者及び医学研究科修士課程修了（見込）者は不要です。

提出書類	摘 要
卒業（見込）証明書 または 修了（見込）証明書	最終学校（学部・学科）長が作成したもの ※本学医学部卒業（見込）者及び本学医学研究科修士課程修了（見込）者は不要です。
入 学 検 定 料	30,000円を郵便局またはゆうちょ銀行に振込み、受領した「郵便振替払込受付証明書（お客様用）」を入学願書の所定欄に貼付してください。 なお、払込手数料は出願者の負担となります。
受験票送付用封筒	定型封筒に362円分の切手を貼り、受験票送付先、郵便番号を記入してください。

※ 婚姻等により、卒業（見込）証明書等と姓が異なる場合は、戸籍抄本を同封すること。

## (2) 社 会 人

出願資格の認定を要しない社会人入学希望者は上記(1)のほか以下の書類を提出してください。

提出書類	摘 要
受 験 許 可 書	本要項添付の用紙に所属長が証明したもの
研 究 活 動 歴	本要項添付の様式に準じて作成してください。

※ 本学附属病院に勤務している場合、受験許可書の提出は不要です。

## (3) 外国人留学生

上記(1)のほか以下の書類を提出してください。

提出書類	摘 要
健 康 診 断 書	本要項添付の用紙を使用してください。
在留カード等の写し	在留カード、旅券など、在留資格が記載されているもの
出身大学学長または 研究活動における指 導教官等の推薦書	様式任意

※ 審査上必要と認めた場合には上記以外の証明書等の提出を求める場合があります。

## 6 入学者選抜方法

入学者の選抜は、小論文、面接及び上記出願書類の審査を総合して行います。

### (1) 一般入試（社会人を含む）

① 小論文

② 面 接

### (2) 外国人留学生入試

① 小論文（英語での記述も可）

② 面 接

③ 健康診断

## 7 試験期日、時間等【一般入試（社会人を含む）・外国人留学生入試とも】

区分	期 日	科目・時間
10月入学	平成30年8月4日(土)	【小論文】 9時00分～10時00分 【面 接】 10時30分～
4月入学	平成30年12月8日(土)	

※ 試験場の詳細及び集合時間等は受験票送付時に通知します。



## 8 合格者発表

10月入学	平成30年9月20日(木)
4月入学	平成31年1月17日(木)

午前10時頃、本学6号館南側屋外掲示板に掲示するとともに本人あて通知します。

## 9 入学手続等

下記により入学手続を行ってください。

### (1) 入学手続期間

10月入学	平成30年9月20日(木)～9月28日(金) ※ 土日、祝日を除きます
4月入学	平成31年1月17日(木)～1月25日(金) ※ 土日を除きます

※ 午前9時～午後5時まで

※ 郵送による場合は書留速達とし、上記期間内に必着とします。

※ 期限までに入学手続を完了しない場合は入学を辞退したものとします。

### (2) 入学手続場所

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

福島県立医科大学 教育研修支援課 医学部教務係(5号館1階) 電話 024-547-1095

### (3) 必要書類等

- ① 誓約書    ② 身元保証書    ③ 住民票(本人のもの)  
④ 科目履修届(該当者のみ)    ⑤ 学生記録    ⑥ 写真(2枚)  
⑦ 授業料口座振替依頼書    ⑧ 長期履修学生制度関係書類(該当者のみ)

### (4) 納付金

① 入学料 282,000円(入学手続時に納入のこと。)

② 授業料 535,800円(入学後に納入してください。納入方法は口座振替で2期分納(均等割)期限は4月末と10月末です。)

※ 入学料及び授業料については変更されることがあり、在学中に授業料の改定が行われた場合は改定時から新授業料が適用されます。

## 10 注意事項

- (1) 受験者は別途指示する時間までに試験場に集合して受験に関する指示を受けてください。
- (2) 願書受付後は、提出した書類及び入学検定料は、いかなる事由があっても返還しません。
- (3) 出願書類の記載事項と事実が相違する場合は入学を取り消す場合があります。
- (4) 出願時に提出された入学願書等に記載されている個人情報については、入学者選抜事務、入学手続、入学後の修学指導及び諸連絡等の業務についてのみ利用し、他の業務には利用しません。
- (5) 入学試験に関する照会先

福島県立医科大学 教育研修支援課 入試係

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

電話 024-547-1093

ファクス 024-547-1989

# 福島県立医科大学大学院医学研究科（博士課程）入学案内

## 1 概 要

福島県立医科大学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、従来の学術水準に新しい知見を加え、文化の進展に寄与するとともに、医学に関する研究を指導する能力を養うことを目的としています。

平成16年度以降、4専攻（「地域医療・加齢医科学専攻」、「機能制御医科学専攻」、「神経医科学専攻」、「分子病態医科学専攻」）構成により教育研究を進めてきましたが、平成21年度より1専攻（「医学専攻」）へ再編・統合しました。

「医学専攻」では、特定の領域を深く究めることも、医学の様々な領域を広く縦断して修めることも可能な授業構成としており、学生が持つ資質と意欲を最大限に引き出し、新たな医学の創造に向かい優れた医学の実践を通して地域の発展に尽力する人材を育成します。

## 2 標準修業年限

4年

## 3 授業の構成と概要

別表1のとおり

## 4 分野と研究内容

各分野、指導担当教員、及び研究指導テーマについては、別表2「各分野の教員と主な研究テーマ」のとおり。（別表2は平成30年4月時点での予定です。出願の際は本学ホームページ等で最新の状況をご確認ください。）

## 5 学位の授与

医学研究科に4年以上在学し、所定の授業科目を履修し、独創的研究に基づく論文を提出してその審査に合格し、かつ、最終試験に合格した者に対して博士（医学）の学位を授与します。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、3年以上在学すれば足りるものとします。

## 6 奨 学 金

日本学生支援機構の奨学金制度が利用できます。

また、日本学生支援機構奨学金等を利用できない場合、本学が独自に設けた奨学金制度を利用することができます。

## 7 外国人の臨床修練

外国人にあつては、「外国医師等が行う臨床修練に係る医師法第17条等の特例等に関する法律」第3条に定める許可を受けない限り、医業を行うことはできません。

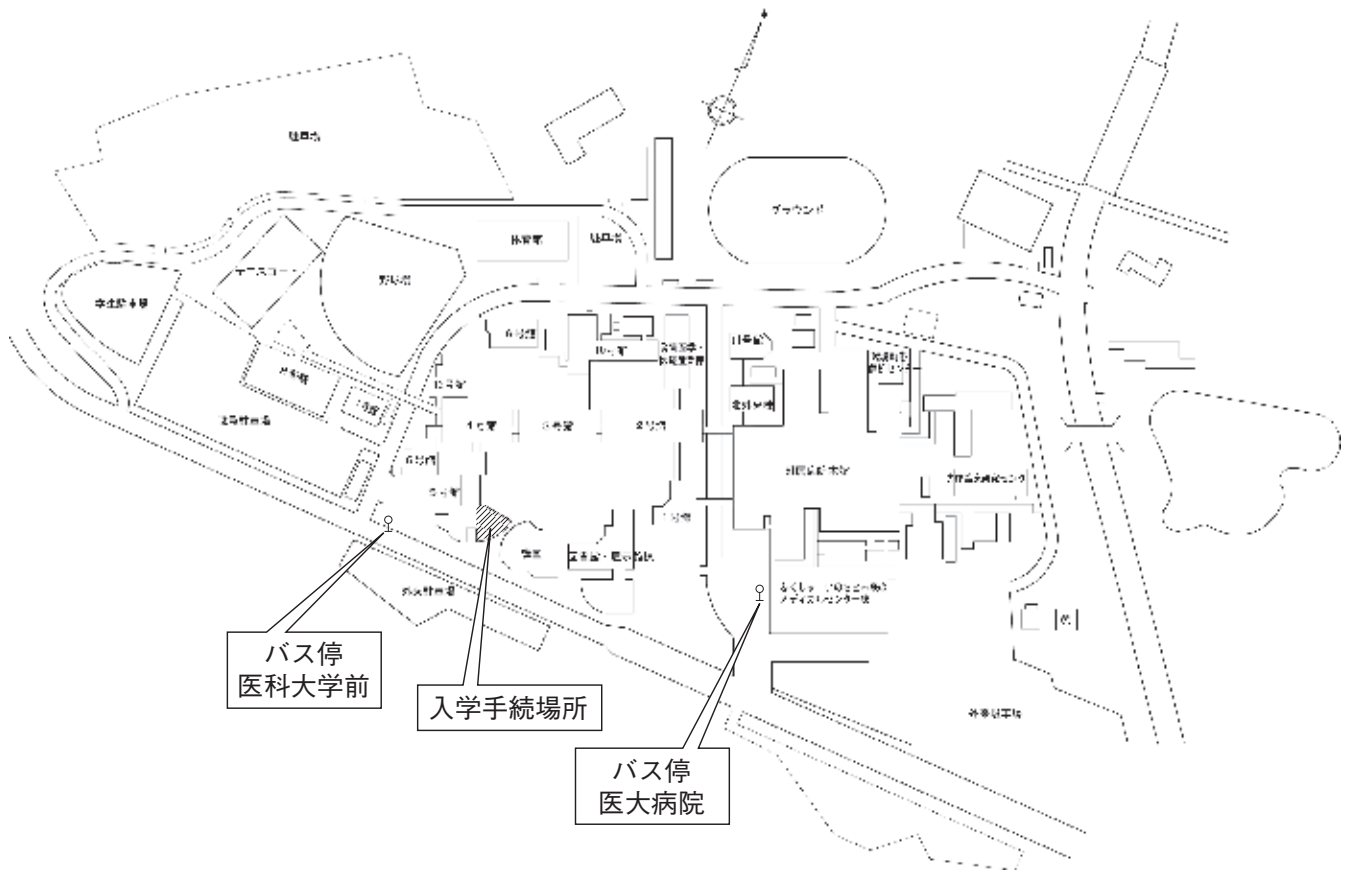
## 8 授業料免除制度

経済的理由により授業料の納付が著しく困難であり、かつ、学業成績優秀と認められる学生に対しては、申請により授業料等を免除できる場合があります。

## 9 長期履修制度

職業を有している等の理由により、標準修業年限で修了することが困難な場合、標準修業年限を超えて一定期間にわたり計画的な履修を認める制度があります。

# 10 大学案内図



## 交通案内

JR 福島駅東口バスターミナル福島交通バス「バイパス経由医大」行き乗車、「医科大学前」下車徒歩1分。(所要時間約30分)

## 入学選抜等に関する照会先

福島県立医科大学

教育研修支援課 入試係

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

TEL 024-547-1093

FAX 024-547-1989

【別表1】

教育科目区分	授業科目	概 要	単位数	形態
共通基盤教育科目	医学研究概論	<b>高度医学研究者コースにおける必修科目</b> 研究を遂行する上で不可欠な研究倫理、実験計画立案から研究の進め方、発表に至る基本的手法等について「研究の進め方」、「研究倫理」…等全8回のオムニバス方式で講義を行う。	1	必修
	総合人間学特論	<b>専門医研究者コースにおける必修科目</b> 本コースの学生は、生涯にわたり人間について様々な問題に取り組むため、人間を身体的な存在だけでなく、心理的社会的な因子を含む存在として捉え、地域、経済、法と人間・医療との関わりをオムニバス形式の講義を通して学ぶ。	1	必修
	医科学研究入門	主に高度医学研究者コースの学生を対象として、医学研究の基礎をe-learningにより受講する前半と、先端的な研究の原理と手法について学習する演習（後期実施）からなる。	1	選択必修
	研究デザイン学	・医学研究（特に臨床研究）を行う際に必要な「研究デザイン学」の基本を理解する。 ・疑問の構造化・モデル化、測定概念の変数への変換、変数測定法の開発や測定法の評価、比較の質を高める方法、調査研究法の基本を理解する。	1	選択必修
専門分野教育研究科目	医学特論	学位論文の主体となる分野について深く掘り下げて講義する。	4	必修
	医学特別研究演習	専門とする分野に関する演習であり、本演習をとおして医学特論を理解し、講義内容を実践して専門分野の内容を習得する。同時に、本演習によって学位論文作成に必要な具体的研究手法を学習する。	8	必修
発展分野教育研究科目	医学特論演習	専門とする分野以外から、専門分野の学位論文作成及び将来の診療・研究にとって必要とされる内容について学習する。 また、「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）養成プラン※に基づく3つの腫瘍専門医養成コース（6単位相当）を設け、治療の計画立案から実際までの演習を行う。	10	必修
	大学院セミナー	多分野にわたる最先端の知識を広く得るために開催し、医学全般に関する理解と関心を深める。	2	必修
特別研究	研究指導	大学院における学習・研究の集大成としてその専門とする分野において研究を行い、新たな知見を得てそれを学位論文として取りまとめるための指導をする。本科目の成果として学位論文が完成される。	4	必修
<b>卒業要件及び履修方法</b>				
<p>4年以上在学し、所定の授業科目を履修し、30単位以上履修した上で、独創的研究に基づく論文を提出して審査に合格し、かつ、最終試験に合格すること。</p> <p>共通基盤教育科目の中から<b>高度医学研究者コース</b>の学生は「医学研究概論」を、<b>専門医研究者コース</b>の学生は「総合人間学特論」を必修とし、それぞれ残る3教科から1科目以上選択して計2単位以上、並びに専門分野教育科目12単位及び発展分野教育科目の12単位（共通基盤教育科目4単位の場合は10単位）、更に特別研究の4単位の合計30単位以上を履修しなければならない。</p>				

※多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）養成プラン

（東北次世代がんプロ養成プラン）

多様ながんの医療ニーズに対応する先進的がん専門医療人を養成する、大学・地域一体の包括的教育プログラムで、本学「専門医研究者コース」には当該プログラムに基づいた「腫瘍専門医養成コース」を内包しています。「腫瘍専門医養成コース」は、医学特論（臨床腫瘍学：インターネットスクール）及び医学特別研究演習（臨床腫瘍学）における化学療法・外科療法・放射線治療・造血細胞移植・緩和医療についての実習を必修とし、がん治療認定医資格に対応した「次世代がん薬物療法専門医コース」「小児がん専門医コース」「次世代腫瘍外科医コース」「先端放射線治療医コース」の4コースで構成されます。

- 次世代がん薬物療法専門医コース  
がん薬物療法に関する研修を行い日本臨床腫瘍学会（JSMO）のがん薬物療法専門医の取得も可能なコース。
- 小児がん専門医コース  
小児科専門医および日本小児血液がん学会の小児血液・がん専門医を養成するコース。  
実習は本学附属病院で専門医などのカリキュラムに準じて行います。
- 次世代腫瘍外科医コース  
日本乳癌学会・乳腺専門医など腫瘍外科に関する専門家を養成するコース。実習は本学附属病院で専門医制度のカリキュラムに準じて行います。
- 先端放射線治療医コース  
日本放射線腫瘍学認定医および日本医学放射線学会専門医（治療）を養成するコース。  
実習は本学附属病院で専門医などのカリキュラムに準じて行います。

## 履修モデル

いずれの履修例においても修了後は大学、研究・医療機関等での活躍が期待されます。

### 履修例1 基礎医学分野の研究者を目指す者の履修例

	1年次		2年次		3年次		4年次		合計 単位数
	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	
共通基盤教育	医学研究概論	1							1
	医科学研究入門	1							1
専門分野教育	医学特論		医学特論		医学特論		医学特論	4	4
	医学特別研究演習		医学特別研究演習		医学特別研究演習		医学特別研究演習	8	8
発展分野教育	医学特論演習	4	医学特論演習	2	医学特論演習	2	医学特論演習	2	10
					大学院セミナー	2			2
特別研究	研究指導		研究指導		研究指導		研究指導	4	4

### 履修例2 臨床研究に主体を置き、同時に専門医・認定医を目指す者の履修例

	1年次		2年次		3年次		4年次		合計 単位数
	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	
共通基盤教育	総合人間学特論	1							1
	研究デザイン学	1							1
専門分野教育	医学特論		医学特論		医学特論		医学特論	4	4
	医学特別研究演習		医学特別研究演習		医学特別研究演習		医学特別研究演習	8	8
発展分野教育	医学特論演習	4	医学特論演習	2	医学特論演習	2	医学特論演習	2	10
					大学院セミナー	2			2
特別研究	研究指導		研究指導		研究指導		研究指導	4	4

### 履修例3 認定医の資格を持つ医学研究者を目指す者の履修例

	1年次		2年次		3年次		4年次		合計 単位数
	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	
共通基盤教育	総合人間学特論	1							1
	医学研究概論	1							1
専門分野教育	医学特論		医学特論		医学特論		医学特論	4	4
	医学特別研究演習		医学特別研究演習		医学特別研究演習		医学特別研究演習	8	8
発展分野教育	医学特論演習	4	医学特論演習	2	医学特論演習	2	医学特論演習	2	10
					大学院セミナー	2			2
特別研究	研究指導		研究指導		研究指導		研究指導	4	4

### 履修例4 腫瘍専門医養成コースを選択して高度な専門性を持つ腫瘍専門医を目指す者の履修例

	1年次		2年次		3年次		4年次		合計 単位数
	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	
共通基盤教育	総合人間学特論	1							1
	医学研究概論	1							1
専門分野教育	医学特論（臨床腫瘍学）		医学特論（臨床腫瘍学）		医学特論（臨床腫瘍学）		医学特論（臨床腫瘍学）	4	4
	※医学特論（臨床腫瘍学）はインターネットスクール								
	医学特別研究演習（臨床腫瘍学）		医学特別研究演習（臨床腫瘍学）		医学特別研究演習（臨床腫瘍学）		医学特別研究演習（臨床腫瘍学）	8	8
※医学特別研究演習（臨床腫瘍学）は化学療法・外科療法・放射線治療・緩和医療についての実習を必修とする									
発展分野教育	医学特論演習	4	医学特論演習	2	医学特論演習	2	医学特論演習	2	10
					大学院セミナー	2			2
特別研究	研究指導		研究指導		研究指導		研究指導	4	4

【別表2】

分野	担当講座・部門	職	氏名	研究指導の主なテーマ
神経発生学	神経解剖・発生学座	教授	八木沼洋行	神経系の発生に関与する分子群の発現様式と機能の解明 発生過程に起こる神経細胞死の機序に関する研究 発生過程の神経系への効率の良い遺伝子導入法の検討 脳形成過程での細胞移動と層構築機構の研究 小脳内領域の形成機序と機能に関する研究 光遺伝学を用いた脳機能解析
機能組織学	解剖・組織学講座	教授	和栗 聡	1 オートファジー・リソソーム分解系の細胞組織生物学および病態との関係 2 メンブレントラフィックの細胞組織生物学および病態との関係 3 細胞増殖と細胞内分解システム
分子機能学	細胞統合生理学座	教授	狭間 章博	・イオンチャネル・トランスポータの機能 ・iPS細胞及び脂肪由来幹細胞を用いた細胞分化の研究 ・ストレス応答における膜輸送体の役割
神経生理学	システム神経科学座	教授	永福 智志	1 社会的認知(顔認知・個体関係認知)の脳内機構に関する神経生理学的研究、認知科学的研究、脳機能イメージング研究 2 睡眠・覚醒の神経性調節機構に関する研究
神経生理学	システム神経科学座	准教授	浄土 英一	1 精神疾患(特に統合失調症)モデル動物の作製と、それを用いた疾患発症メカニズムに関する神経生理学的研究 2 精神疾患の病態生理学的研究
分子調節学	生化学講座	教授	橋本 康弘	1 エネルギー代謝とその調節機構、および複合糖質の発現調節機構 2 アルツハイマー病をはじめとする認知症の診断マーカーの研究 3 糖鎖癌マーカーの研究
分子免疫学	免疫学講座	教授	関根 英治	1 補体因子 MASP-3の活性化機構について 2 ループス腎炎の発症における補体因子 MASP 1/3の役割について 3 補体第二経路を標的とする新規治療薬の開発
分子薬理学	病態制御薬理医学座	教授	下村 健寿	1 中枢から見た肥満・代謝調節機序の研究 2 薬食相互作用に関する基礎及び臨床研究 3 骨格筋疾患の治療を目指した再生薬理学的研究 4 新生児糖尿病・DEND症候群の病態機序・治療法の研究
感染症学	微生物学講座	教授	錫谷 達夫	1 サイトメガロウイルスを中心としたヘルペスウイルス感染症発症病理の分子生物学的解析と治療法・診断法の開発 2 腸内細菌叢を始めとする生体に存在する菌叢と疾患・健康との関係の解析 3 抗微生物活性、抗酸化活性、免疫増強活性を持つ機能性食品の開発
分子細胞病理	基礎病理学講座	教授	千葉 英樹	1 細胞間接着シグナルによる初期胚幹細胞の新規上皮分化誘導機構 2 過剰な細胞間接着シグナルによるがんの悪性形質増強機構 3 細胞間接着シグナルによる腸上皮幹細胞の運命決定機構 4 間葉系幹細胞における細胞間接着分子の発現と機能 5 核内受容体とその代謝関連標的分子に着目した難治がん治療法 6 ネフローゼ症候群ポドサイトにおけるタイト結合新生の意義-新規診断マーカーと治療標的の同定 7 宿主細胞間接着分子を標的とするC型肝炎の新規予防・治療法の開発 8 神経血管ユニットによる新規血液脳関門制御機構と統合失調症病態への関与 9 悪性中皮腫の新規診断マーカーの同定

分野	担当講座・部門	職	氏名	研究指導の主なテーマ
衛生学・予防医学	衛生学・予防医学講座	教授	福島 哲仁	<ol style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病に関する疫学・実験研究</li> <li>病院などにおける臨床疫学研究</li> <li>医療経済、地域医療計画、医療政策研究</li> <li>労働者の安全及び衛生に関する産業医学研究</li> <li>健康教育、行動科学研究、質的研究</li> <li>環境化学物質の生体影響と予防医学的研究</li> <li>認知症高齢者のQOLに関する研究</li> <li>循環器疾患に関する疫学研究</li> </ol>
臨床疫学	衛生学・予防医学講座	教授	福島 哲仁	<p>質の高い臨床研究を独力で世界に発信できる次世代リーダー研究者の人材育成を行う。県民の健康長寿延伸に貢献する地域の研究や、病院の患者をベースにした研究から、治療・予防に関するエビデンスや診断の有効性に関するエビデンスを創出する。必要に応じて、当分野での人材育成の支援に賛同する他の部局（例：臨床研究イノベーションセンター [fuji-future.jp]、附属病院臨床研究教育推進部 [direct.fmu.ac.jp]、ほか）と連携しながら指導を行う。詳しくは、各種ホームページを参照のこと：衛生学・予防医学講座 (<a href="http://www.fmu.ac.jp/home/hygiene/index.html/">www.fmu.ac.jp/home/hygiene/index.html/</a>)</p>
公衆衛生学・疫	公衆衛生学講座	教授	安村 誠司	<p>患者データを用いた臨床疫学研究全般。また、生活習慣病の疫学と予防、地域の高齢者における転倒・骨折の疫学と予防、在宅高齢者の「閉じこもり」の疫学と予防、望ましいターミナルケアの研究、介護予防に関する研究、精神保健の疫学、自殺予防に関する研究、東日本大震災の関連の研究、県民の栄養・食生活に係る研究、及び、地域居住高齢者の身体活動量に関する研究</p>
社会医学	法医学講座	教授	黒田 直人	<ol style="list-style-type: none"> <li>若年者突然死例における心伝導系の組織病理学的検索</li> <li>回転性脳損傷の発生メカニズムに関する組織病理学的診断</li> <li>放射能汚染を伴う死体の死因究明法の検討</li> <li>死後に撮影されるCT画像における死後変化の影響</li> <li>法医学検体例における甲状腺ラテント癌の組織病理ならびに疫学的研究</li> <li>特異な中毒死例における、マウスを用いた動物実験モデル作製による病態検証</li> </ol>
放射線生命科学	放射線生命科学講座	教授	坂井 晃	<ol style="list-style-type: none"> <li>慢性的低線量被ばくの生物学的線量評価方法の確立</li> <li>転座型染色体の発生機序の解明</li> <li>正常Bリンパ球から樹立したiPS細胞(BiPSC)を用いた多発性骨髄腫の腫瘍起源異常Bリンパ球の解明</li> </ol>
疫学・社会健康医学	疫学講座	教授	大平 哲也	<ol style="list-style-type: none"> <li>50年以上続いている地域・職域を対象とした循環器疾患、生活習慣病に関する疫学研究</li> <li>脳卒中及びそのサブタイプに関連する新しい危険因子の研究</li> <li>心理社会的因子と生活習慣病との関連についての前向き研究</li> <li>ストレスを予防する生活習慣に関するコホート研究・介入研究</li> <li>脳卒中等の循環器疾患の発症登録に関する疫学研究</li> <li>笑い和生活習慣病、認知症との関連についてのコホート研究・介入研究</li> <li>地域住民の健康寿命の延伸に関わる要因についての疫学研究</li> </ol>

分野	担当講座・部門	職	氏名	研究指導の主なテーマ
環境保健学	放射線物理化学座 講	教授	石川 徹夫	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自然放射線による内部・外部被ばく研究</li> <li>2 原子力災害に起因する放射性物質の環境動態及び被ばく線量評価に関する研究</li> <li>3 ラドン・トロンによる内部被ばくメカニズムに関する研究</li> </ol>
リスク評価学	健康リスクコミュニケーション学座 講	主任事務取扱	大津留 晶	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 Multiple risk の評価と諸対策の費用効果分析</li> <li>2 対策などがもたらす安心感および主観的幸福度獲得の評価</li> <li>3 リスク情報の提示とリスクの認知や受容度、信頼感の関係の解明</li> </ol>
循環病態学	循環器内科学座 講	教授	竹石 恭知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心不全の病態解明と新たな治療法の確立</li> <li>・加齢に伴う心機能障害の分子メカニズム</li> <li>・血管内皮細胞機能不全を伴う虚血性心疾患の病態解明と治療法の確立</li> <li>・生活習慣病を基礎とする心血管病の病態解明と治療戦略</li> <li>・酸化ストレスによる冠循環障害の病態解明</li> <li>・睡眠時無呼吸による心機能障害の病態解明とその治療戦略</li> <li>・心血管病の画像診断</li> <li>・iPS 細胞を用いた心筋症の病態解明と治療法開発</li> <li>・心血管病の病態における DNA 損傷の役割の解明</li> <li>・Monoclonal hematopoiesis と心血管病</li> <li>・腫瘍循環器病学</li> </ul>
血管生物医学	循環器内科学座 講	教授	石田 隆史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心血管疾患の病因における DNA 損傷の役割</li> <li>・生活習慣病の病因における DNA 損傷の役割</li> <li>・がん治療による心血管障害の分子メカニズム</li> <li>・心血管老化の分子メカニズム</li> </ul>
血液病学	血液内科学講座	教授	池添 隆之	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 造血腫瘍における新規腫瘍マーカーの探索</li> <li>2 移植後合併症の病態解明と新規治療法の開発</li> <li>3 白血病細胞の薬剤耐性獲得機序の解明</li> </ol>
消化器病態学	消化器内科学座 講	教授	大平 弘正	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自己免疫性肝疾患の発症機序と宿主免疫機構の解析</li> <li>2 消化器癌の病態解明と新規治療法の開発</li> <li>3 慢性膵炎の病態解明と治療法に関する研究</li> <li>4 消化管癌の新規内視鏡的治療法の開発</li> <li>5 炎症性腸疾患の病態解明と治療法に関する研究</li> </ol>
リウマチ・膠原病	リウマチ膠原病内科学講座	教授	右田 清志	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 全身性エリテマトーデスの発症機序および自己抗体の関与に関する研究</li> <li>2 補体の膠原病およびその類縁疾患の病態生理に及ぼす影響に関する研究</li> <li>3 関節リウマチにおけるオステオポンチンの関与の研究</li> <li>4 IgG4関連疾患における IgG4の病態関与のメカニズムについての検討</li> <li>5 自己炎症疾患の病態解明</li> </ol>
体液調整医学	腎臓高血圧内科学座 講	教授	風間順一郎	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 糖尿病性血管合併症発症の分子機構の研究(腎症・網膜症)</li> <li>2 メサンギウム細胞の伸展刺激による遺伝子発現・増殖制御機序</li> <li>3 腎障害進展における成長因子・オートコイド・核内受容体の役割に関する分子生物学的研究</li> <li>4 高血圧性血管障害、特に血管内皮細胞機能障害の分子機序</li> <li>5 インスリン抵抗性の分子機序と生物学的意義の探求</li> <li>6 慢性腎臓病 (CKD) の発症・進展因子の解明のための疫学的研究</li> </ol>



分野	担当講座・部門	職	氏名	研究指導の主なテーマ
糖尿病内分泌代謝内科学	糖尿病内分泌代謝内科学講座	教授	島袋 充生	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 1型及び2型糖尿病の発症メカニズム</li> <li>2 1型及び2型糖尿病の血管合併症の発症メカニズム</li> <li>3 1型及び2型糖尿病の血管合併症および生命予後の改善にむけた包括的リスク管理</li> <li>4 異所性脂肪・サルコペニアの病的意義の解明と診療コンセプトの構築</li> <li>5 下垂体・視床下部・副腎と代謝・血管合併症及び生命予後</li> <li>6 災害とストレスがもたらす食行動、活動性の変容と生活習慣病</li> <li>7 食行動からみた生活習慣病の発症メカニズム</li> <li>8 腸内細菌からみた生活習慣病の発症メカニズム</li> </ol>
病態神経学	神経内科学講座	主任事務取扱	永福 智志	虚血性脳疾患の病態 臨床症状と病変の対応画像と神経所見 中核神経の臨床神経生理学：錐体路解析、小脳機能解析、人での神経可塑性誘導 可塑性を用いた神経疾患治療 神経筋イオンチャンネル病の病態解析 末梢神経・筋肉疾患の臨床神経生理学
呼吸器病態学	呼吸器内科学講座	教授	柴田 陽光	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 呼吸器疾患発症における環境・遺伝子相互作用 (Gene-Environment Interaction) の解析</li> <li>2 呼吸器疾患病因・病態に関するバイオマーカーの開発</li> <li>3 肺の形態機能関連 (Structure-Function Relationship)</li> <li>4 呼吸器疾患の非侵襲的診断方法の開発 (音、呼気ガス、呼気濃縮液、誘発喀痰など)</li> <li>5 呼吸器内視鏡を用いた新しい呼吸器疾患診断法の開発</li> <li>6 呼吸器内視鏡を用いた新しい呼吸器疾患治療法 (内視鏡的インターベンション) の開発</li> <li>7 呼吸器疾患の新しい治療戦略の理論構築と実践</li> </ol>
病態制御外科学	肝胆膵・移植外科学講座	教授	丸橋 繁	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 消化器がんに対する基礎的研究。癌幹細胞、non-coding RNA とがん転移メカニズムの解明</li> <li>2 再生医学。肝再生メカニズムの解明。Stem cell を用いた肝再生、膵島細胞シートの作成</li> <li>3 臓器移植と免疫寛容</li> <li>4 難治性がんに対する、術前放射線、化学療法を用いた集学的治療法の開発</li> <li>5 3次元画像をもとにした AI サポート術中ナビゲーションシステムの開発</li> <li>6 肝胆膵癌における、遺伝子発現解析およびゲノムシークエンスによる、悪性度診断と予後予測法の解明</li> </ol>
胸部腫瘍制御外科学	呼吸器外科学講座	教授	鈴木 弘行	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 腫瘍の発生及び治療に関する基礎的・臨床的研究</li> <li>2 縦隔腫瘍に関する基礎的・臨床的研究</li> <li>3 腫瘍免疫</li> <li>4 悪性腫瘍に関する画像診断</li> </ol>
消化管外科学	消化管外科学講座	教授	河野 浩二	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 消化管の癌における発癌過程、進展過程の基礎的臨床的検討</li> <li>2 消化管癌に対する低侵襲手術の科学的検証</li> <li>3 消化管癌におけるがん免疫療法の開発</li> </ol>
腫瘍外科学	乳腺外科学講座	教授	大竹 徹	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 次世代画像診断による至適な乳房温存手術の適応と臨床応用</li> <li>2 乳癌サブタイプ鑑別診断に関する新規遺伝子セットの基礎および臨床研究</li> <li>3 乳癌薬物療法の効果予測分子マーカーの開発及び臨床応用</li> <li>4 乳癌における新規腫瘍マーカーの臨床的意義と機能解析</li> </ol>

分野	担当講座・部門	職	氏名	研究指導の主なテーマ
心臓血管系 再 建 学	心臓血管外科学 講 座	教 授	横山 斉	1 心拍動下手術の安全性向上に関する研究 2 血管新生療法の開発と評価 3 スtentグラフトによる大動脈瘤治療法
脳神経外科学	脳神経外科学 講 座	教 授	齋藤 清	1 誘発電位による術中モニタリング 2 脳腫瘍の遺伝子解析 3 脳脊髄液の解析 4 新しい手術機器および手術方法の開発 5 術中蛍光脳血管撮影の開発 6 新しい手術支援ナビゲーションシステムの開発
運 動 機 能 再 建 学	整形外科科学講座	教 授	紺野 慎一	運動器疾患に由来する疼痛発生のメカニズム
生活機能学	整形外科科学講座	教 授	紺野 慎一	加齢に伴う循環動態、四肢、体幹の機能障害の発生機序
形成外科学	形成外科学講座	教 授	小山 明彦	顕微鏡を用いた、血管吻合、神経吻合を行い、血管の開存率や神経機能の回復を観察して、より良い血管吻合や神経縫合の方式を開発する。
産科婦人科学	産婦人科学講座	教 授	藤森 敬也	1 早産のメカニズムと早産防止法の研究 2 胎児機能不全の病態生理学的研究 3 胎児治療に対する基礎的研究 4 婦人科癌の転移機構に関する基礎的研究 5 婦人科癌における化学療法に関する基礎的研究 6 婦人科癌の遺伝子治療に関する基礎的研究 7 受精のメカニズムについての基礎的研究 8 未熟精子の受精能に関する基礎的研究 9 体外受精、胚移植、顕微授精の基礎的研究 10 着床に関する基礎的研究 11 PCOS の内分泌学的解明と治療法の研究
小児保健学	小児科学講座	教 授	細矢 光亮	1 薬剤の成長・発達に与える影響 2 母子愛着形成不全と精神行動発達障害
小 児 科 学	小児科学講座	教 授	細矢 光亮	1 感染症の早期診断治療 2 炎症性疾患と臓器障害
眼機能再建学	眼 科 学 講 座	教 授	石龍 鉄樹	網膜硝子体疾患の病態解明と治療の開拓
泌尿器外科学	泌尿器科学講座	教 授	小島 祥敬	1 Rho-kinase と膀胱機能 2 LPA と前立腺及び膀胱平滑筋の増殖と収縮機能 3 神経伝達物質(NO,NA)の放出と前立腺肥大症 4 腎癌とサイトカイン、及び分子標的薬 5 前立腺肥大症の増殖機構 6 尿路閉塞と膀胱平滑筋機能 7 ゲノム薬理学とオーダーメイド医療 8 ロボット支援手術
耳鼻咽喉科学	耳鼻咽喉科学 講 座	教 授	室野 重之	1 ウイルス関連頭頸部癌の発癌・転移・新規治療に関する研究 2 頭頸部癌のセンチネルリンパ節における免疫応答に関する研究 3 サイトメガロウイルスによる聴覚障害に関する研究 4 頭頸部悪性腫瘍に対する手術治療と機能温存に関する研究 5 側頭骨病理に関する研究 6 音声障害・嚥下障害の病態解析および機能改善手術に関する研究 7 喉頭・気管の再生に関する研究
神経精神医学	神経精神医学 講 座	教 授	矢部 博興	1 神経精神疾患の認知生理学的研究（事象関連脳電位研究、光トポグラフィー研究、脳磁気刺激研究、実験心理学研究を含む） 2 神経精神疾患の精神薬理学的研究（薬物遺伝研究、薬物脳波研究を含む） 3 神経精神疾患の病理組織学的研究（死後脳研究、DNA 研究を含む） 4 神経精神疾患の社会心理学的研究（臨床心理学研究、精神保健を含む）

分野	担当講座・部門	職	氏名	研究指導の主なテーマ
放射線医学	放射線医学講座	教授	伊藤 浩	1 CT及びMRIによる脳神経疾患の診断に関する研究 2 インターベンショナルラジオロジーに関する研究 3 脳循環代謝測定法の研究 4 PET/MRIを用いた画像診断に関する研究 5 核医学画像診断に関する研究
麻酔学	麻酔科学講座	教授	村川 雅洋	1 全身麻酔と神経伝達物質放出 2 全身麻酔と神経伝達物質受容体 3 麻酔薬の薬物動態解析 4 生体情報モニターの精度検定
周術期生体防御医学	麻酔科学講座	教授	黒澤 伸	1 揮発性吸入麻酔薬によるT細胞アポトーシスの直接誘導とその機序に関する基礎的実験 2 個々の麻酔薬により生じる免疫抑制程度の差異についての原因の追及 3 敗血症状態における感染兆候のバイオマーカーの検討
救急・集中治療医学	救急医療学講座	教授	伊関 憲	1 グリア細胞の動態 2 脂質代謝酵素に関する研究 3 各種生体侵襲における動物実験による研究 4 中毒における動物実験モデルによる研究 5 救急医学に関する疫学研究
血液病理学	病理病態診断学講座	教授	橋本 優子	1 悪性リンパ腫の病理学的診断、病態、生物学的特性と腫瘍発生・予後との関連性の検討 2 各種領域における病理検体(特にFFPE資料)を用いた遺伝子学的手法によるTranslationalresearchへの応用 3 コンパニオン診断における精度管理
検査医科学	臨床検査医学講座	教授	志村 浩己	甲状腺超音波診断に関する研究 小児・若年者の甲状腺疾患に関する疫学研究 甲状腺疾患関連新規検査の開発 脱分化した甲状腺癌の分化誘導方法の開発 甲状腺癌バイオマーカーの探索 臨床検査の新技术の開発
感染制御学	感染制御医学講座	教授	金光 敬二	1 抗菌化学療法における基礎的・臨床的研究 2 アウトブレイクの疫学解析 3 検出菌の疫学的解析 4 臨床分離菌の遺伝子学的同定
皮膚・粘膜学	皮膚科学講座	教授	山本 俊幸	強皮症の病態解析、皮膚・粘膜の免疫アレルギー学乾癬の病態解析
移植免疫学	輸血・移植免疫学講座	教授	池田 和彦	同種免疫反応の評価と制御 造血幹細胞のbiology
国際医科学	輸血・移植免疫学講座	教授	Nollet Kenneth Eric	1 International Medical Communication and Education 2 Emergency Preparedness and Disaster Response 3 Global Transfusion Standards and Ethics
地域・家庭医療	地域・家庭医療学講座	教授	葛西 龍樹	1 臨床医に必要な基礎的能力 2 広範な健康問題に対応できる知識・技術 3 家庭医・総合診療専門医を特徴づける能力 4 家庭医療・総合診療の教育・評価方法と臨床研究 5 医療経済学、医療政策学、医療マネジメント学 6 プライマリ・ケア
放射線健康リスク予防医学	放射線健康管理学講座	教授	大津留 晶	1 原子力災害と地域ヘルスプロモーションの研究 2 甲状腺超音波スクリーニングに関する疫学的、心理社会的な研究 3 甲状腺癌の病態に関する病理学的・免疫組織化学的研究 4 日常生活における外部・内部被ばく線量とリスク認知の研究

分野	担当講座・部門	職	氏名	研究指導の主なテーマ
スクリーニング・コミュニケーション医学	放射線健康管理学講座	准教授	緑川 早苗	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 放射線災害後の健康調査のリスク認知に及ぼす影響に関する研究</li> <li>2 甲状腺疾患に関するスクリーニングの方法論と心理社会的影響に関する研究</li> <li>3 スクリーニングにおけるコミュニケーションの確立に関する研究</li> </ol>
甲状腺内分泌学	甲状腺内分泌学講座	教授	鈴木 眞一	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 小児甲状腺癌の発生メカニズム解明</li> <li>2 甲状腺未分化癌の新規治療法の開発</li> <li>3 甲状腺関連の家族性腫瘍に特異的なヒトiPS細胞の樹立</li> <li>4 甲状腺関連の家族性腫瘍の疾患モデル細胞の確立</li> <li>5 甲状腺濾胞癌の術前診断法の確立に向けた分子生物学的機構の解明</li> <li>6 甲状腺癌の増殖メカニズムに関する検討</li> <li>7 多発性内分泌腫瘍症などの内分泌腫瘍症に対する治療法の開発</li> <li>8 内分泌腫瘍に対するメチル化機構の解明</li> <li>9 ゲノム編集による内分泌に対する治療法の確立</li> </ol>
放射線腫瘍学	放射線腫瘍学講座	教授	鈴木 義行	放射線による抗腫瘍免疫誘導とその修飾
腫瘍内科学	腫瘍内科学講座	教授	佐治 重衡	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 がん薬物療法の治療応答性に関する研究</li> <li>2 福島県のがん罹患動向に関する研究</li> </ol>
腫瘍専門医養成コース	臨床腫瘍センター(腫瘍内科学講座)	教授	佐治 重衡	<p>多分野がん腫治療の知識・技術を習得し(消化器・呼吸器・乳房・造血器悪性疾患の4分野習得を必須とし、入院・外来での治療を実践する)、がん薬物療法専門医認定資格修得を視野に入れた研究・演習を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 がん化学療法における効果と安全性の向上に関する研究</li> <li>2 がん化学療法時に起きる心理学的・社会学的問題の理解と対応実践</li> <li>3 がん化学療法に関する臨床試験方法論</li> <li>4 化学療法を含むがんの multimodality 治療開発</li> </ol>
リハビリテーション医学	リハビリテーション医学講座	教授	大井 直往	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に対する運動器リハビリテーション</li> <li>・障害者スポーツ</li> <li>・日常生活活動における三次元動作解析</li> <li>・PETによる骨格筋活動の研究</li> <li>・スポーツ活動における動作解析</li> </ul>
医療統計学	自然科学講座(数理情報学分野)	教授	岡田 達也	臨床試験における各種実験デザイン統計手法の調査及びその問題点と改良方法に関する研究
バイオ分析化学	自然科学講座(先端化学分野)	教授	志村 清仁	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 タンパク質アイソフォームの迅速で高感度な分離分析法であるアフィニティープロープキャピラリー電気泳動法(APCE)の開発に関する研究</li> <li>2 新原理に基づくタンパク質などの生体分子に関する分析法の開発研究</li> </ol>
分子生物学	自然科学講座(分子細胞生物学分野)	教授	松岡 有樹	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ヒト・ヘモグロビンの結合酸素の安定化機構</li> <li>2 組み換えタンパク質の発現・精製・結晶化と立体構造の解析</li> <li>3 原生生物のゲノム再構成の解析</li> </ol>
分子細胞情報学	生体物質研究部門	教授	本間 好	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 細胞分化、細胞増殖のシグナル伝達に関する研究</li> <li>2 ミトコンドリア機能調節機構に関する研究</li> <li>3 疾患に関わるエピゲノムの解析及び編集法の開発</li> <li>4 機能低分子化合物の開発</li> </ol>
細胞科学	細胞科学研究部門	教授	和田 郁夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先端的分子ダイナミクス解析を用いる生理機構の解明</li> <li>・受精の膜融合を可能にする分子機構の解明</li> <li>・生体超微細構造の解析</li> <li>・分泌を可能にする細胞内膜装置の解析</li> </ul>

分野	担当講座・部門	職	氏名	研究指導の主なテーマ
分子神経学 発生生物学	生体機能研究部門	教授	小林 和人	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 大脳基底核神経回路を介する行動制御機構</li> <li>2 学習行動を媒介する神経回路の制御機構</li> <li>3 神経回路の形成と生存維持のシグナル伝達機構</li> <li>4 神経精神疾患モデルの開発</li> </ol>
病態モデル学 動物学	実験動物施設	教授	関口 美穂	各種病態モデルを用いての、動物実験デザインと方法について
口腔組織学	歯科口腔外科	准教授	長谷川 博	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 口蓋癌の基礎と臨床</li> <li>2 唾液中タンパクの研究</li> <li>3 三叉神経の再生について</li> <li>4 口蓋裂の基礎と臨床</li> </ol>
消化器学 内視鏡学	内視鏡診療部	准教授	引地 拓人	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 早期消化管癌の内視鏡診断・治療法の改良と開発</li> <li>2 福島県における胃癌撲滅のための新しい検診法の導入と普及</li> <li>3 消化管腫瘍と膵腫瘍に対する超音波内視鏡・超音波内視鏡下穿刺術を応用した診断・治療法の改良と開発</li> <li>4 消化管静脈瘤の病態解明と内視鏡治療法の改良と開発</li> <li>5 消化管癌・粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡手術の併用による新しい治療法の開発</li> <li>6 胃癌の発癌機序の解明</li> <li>7 内視鏡治療や各種疾患における胃蠕動運動への影響</li> </ol>
造血疾患病学 態	医療人育成・支援センター	教授	亀岡 弥生	造血疾患における無効造血・血球機能異常の成立機序の解明
国際地域保健学	総合科学教育研究センター	教授	後藤 あや	地域の人々の健康を守るより良いシステムをつくるための6つの鍵（人材、サービス、情報、財政、機材、全体の統制）の中でも、人材、サービス、情報に注目した研究を行う。具体的には、育児支援プログラム、保健情報に関する人材育成プログラムなどを、海外から輸入して地域に適応して実施・評価する。また、海外に技術を輸出するプロセスを科学する。国内のデータを、国際的な視点から考察する研究も含む。
発達・行動医学	ふくしま子ども・女性医療支援センター	教授	横山 浩之	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 発達障害および各種の行動障害に対する心理的介入方法の検討</li> <li>2 乳幼児ならびに学童期の行動異常の予防に関する検討</li> <li>3 妊産婦指導、乳幼児健康診査、就学時健診における切れ目のない小児保健指導の在り方に関する研究</li> </ol>
標的アイソトープ治療学	先端臨床研究センター	教授	織内 昇	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 標的アイソトープ治療の開発</li> <li>2 <math>\alpha</math>線ならびに<math>\beta</math>線の治療効果と線量評価、安全性に関する研究</li> <li>3 PET/CTならびにPET/MRIによる分子イメージングの標的アイソトープ治療への応用に関する研究</li> <li>4 PETの定量解析に関する研究</li> </ol>
造血器腫瘍病学 態	血液内科学講座（会津）	教授	大田 雅嗣	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 MRI、PETCTによる造血腫瘍の質的診断に関する研究</li> <li>2 会津地域における骨髄異形成症候群の発症形態と診断、細胞生物学的特性の解明に関する研究</li> <li>3 会津地域における悪性リンパ種の特性的解析及び治療と予後に関する研究</li> <li>4 会津地域における血液腫瘍疾患の発症と疾患特性に関する疫学的研究</li> </ol>

分野	担当講座・部門	職	氏名	研究指導の主なテーマ
大腸肛門病学	小腸大腸肛門科 (会津)	教授	富樫 一智	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人工知能 (AI) を用いた自動内視鏡診断装置の開発 (会津大学との共同研究)</li> <li>2 大腸癌発育進展における serrated pathway の解明</li> <li>3 ポケット法による大腸 ESD の有用性の検証</li> <li>4 新たな画像強調内視鏡機器である Blue Laser Imaging の臨床応用</li> <li>5 大腸3DCTにより測定した腸管長と各種腸疾患との関連</li> <li>6 切除不能大腸癌に対する「オキザリプラチンを含むレジメン」の効果規定因子の解明</li> <li>7 エコーゼリーを用いた MRI 撮影法による直腸癌リンパ節転移診断法の開発</li> <li>8 大腸癌に対する完全腹腔鏡手術の開発</li> </ol>
整形外科学・ 脊椎外科学	整形外科・脊椎 外科学講座 (会津)	教授	白土 修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 新しい脊椎内固定器具 (Spinal instrumentaion) 開発のための生体力学的研究</li> <li>2 成人脊柱変形 (側弯症および後弯症) の診断・治療・予防に関する統合的研究</li> <li>3 慢性腰痛症に関する新しい運動療法の開発</li> <li>4 腰椎椎間板ヘルニアの自然吸収態様に関する病理学的研究</li> <li>5 脊椎疾患患者の運動学的解析</li> </ol>
上気道外科学	耳鼻咽喉科学講座 (会津)	教授	小川 洋	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 聴力改善手術に関する研究</li> <li>2 鼻副鼻腔内視鏡下手術に関する研究</li> <li>3 側頭骨病理に関する研究</li> </ol>
小児腫瘍学	病理診断科 (会津)	教授	北條 洋	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 小児期に発生する腫瘍の病理学的診断、病態、生物学的特性と腫瘍発生</li> <li>2 小児期腫瘍の Group Study (大規模多施設臨床研究)、Translational Reserch における病理学的診断の役割と実際</li> </ol>
認知症学	精神医学講座 (会津)	教授	川勝 忍	<p>I) 変性性認知症における症状と脳萎縮、脳血流とアポリポ蛋白 E 多型との関係の研究</p> <p>アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、嗜銀顆粒性認知症における</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ①記憶障害の程度と② MRI による海馬萎縮および③脳血流 SPECT による後部帯状回の血流低下の程度、</li> <li>2) ①意味記憶障害の程度と② MRI による側頭葉萎縮および③脳血流 SPECT による側頭葉の血流低下の程度、</li> <li>3) ①頭頂葉機能障害の程度と② MRI による頭頂葉萎縮および③脳血流 SPECT による頭頂葉の血流低下の程度、</li> <li>4) ①前頭葉機能障害の程度と② MRI による前頭葉萎縮および③脳血流 SPECT による前頭葉の血流低下の程度を比較検討し、これらとアポリポ蛋白 E 多型との関係を明らかにする。</li> </ol> <p>II) レビー小体型認知症については、上記の他と、ドーパミントランスポータならびに MIBG 心筋シンチによる交感神経機能の低下との関係を明らかにする。</p> <p>III) 上記結果を踏まえて、アミロイド PET による診断結果との関係を明らかにして、より簡便な診断法について検討する。</p> <p>IV) これまで蓄積してきた変性性認知症40例の画像診断と病理変化について、定量的に解析を行う。本研究では、上記の研究を通じて、認知症の臨床、画像、遺伝、病理の総合的多角的観点から、変性性認知症の病態、鑑別診断について明らかにしたいと考えている。</p> <p>V) 認知症に関する診断能力を生かして、福島県における若年性認知症の実態、有病率の調査を AMED 研究として行う。</p>